

『赤い三角屋根』誕生—国立大学町開拓の景色—展
展示資料の紹介-8



資料1 国立駅名表示板 平成元（1989）年頃 くにたち郷土文化館所蔵

今回の展示資料の紹介は、ちょっとした変化球です。

資料1は、当館が所蔵する国立駅の駅名が表示された3枚の看板です。

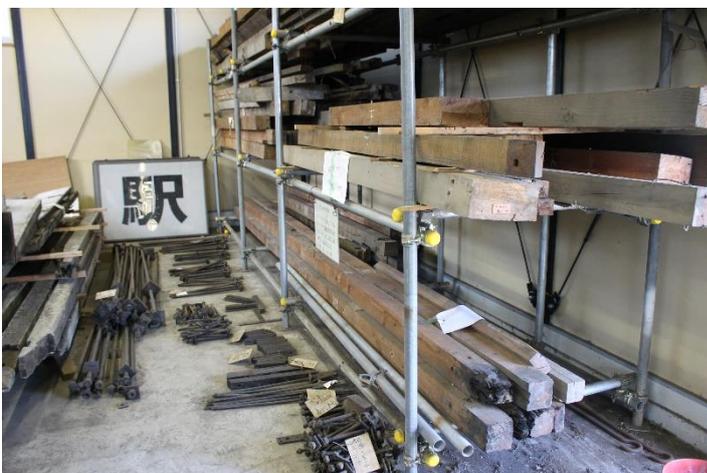
「赤い三角屋根」として親しまれた解体前の国立駅舎をご存じの方にとっては、懐かしい駅名表示板ではないでしょうか。



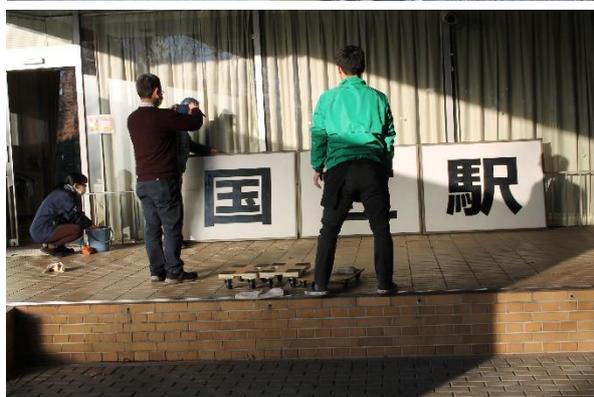
平成8（1996）年9月頃の
国立駅南口

くにたち郷土文化館所蔵

旧国立駅舎は、JR 中央線の高架化工事に伴い平成 18（2006）年に解体され、その部材が国立市によって保管されることとなりました。この度国立駅南口に戻ってきた旧駅舎は、大切に保管されてきたこれらの部材を利用して再築工事がなされた訳です。ただ、旧駅舎は大正 15（1926）年の創建当時の姿に復して再築されましたので、資料 1 の表示板が旧駅舎に戻ることはありませんでした。そこで、国立市役所の担当課（国立駅周辺整備課）と相談、承諾を得て、他の再利用されない部材の一部と共に当館で保存することになったものです。



旧国立駅舎保管庫内部の様子
令和元（2019）年 11 月 8 日の当館による保管庫の調査時に撮影した 1 枚。旧国立駅舎再築において利用できなかった、あるいは利用されなかった部材類が保管されており、奥に資料 1 の駅名表示の看板が 3 枚ともありました。



駅名表示板“お興入れ”の様子

令和元年 12 月 27 日、年末も差し迫った時期に当館へと迎え入れました。左の写真はお興入れの“お化粧”ならぬお掃除の様。右は無事当館に収まることを記念してパチリ。このときの“撮影会”がもとになって、ご来館の皆さんにも看板と一緒に撮影をしてもらおうということで展示することに。

さて、この度の春季企画展は、旧国立駅舎が駅前に再築され、オープンの日（令和 2・2020 年 4 月 6 日 OPEN）を迎えるのを記念し、「『赤い三角屋根』誕生一国立大学町開拓の景色一」と題して開催しました（新型コロナウイルス感染拡大防止のための臨時休館により、残念ながら開催期間 2 日間で閉幕となってしまいましたが…）。

この企画展では、旧国立駅舎が創建当時の姿へと復して再築されたことから、旧駅舎の創建時およびその前後を中心とした展示の構成としました。よって、明治末・大正期から昭和初期辺りまでの資料が出陳されているものでした。

長々と何を述べているのかといいますと…展示担当者の言い訳です。すみません。もう少

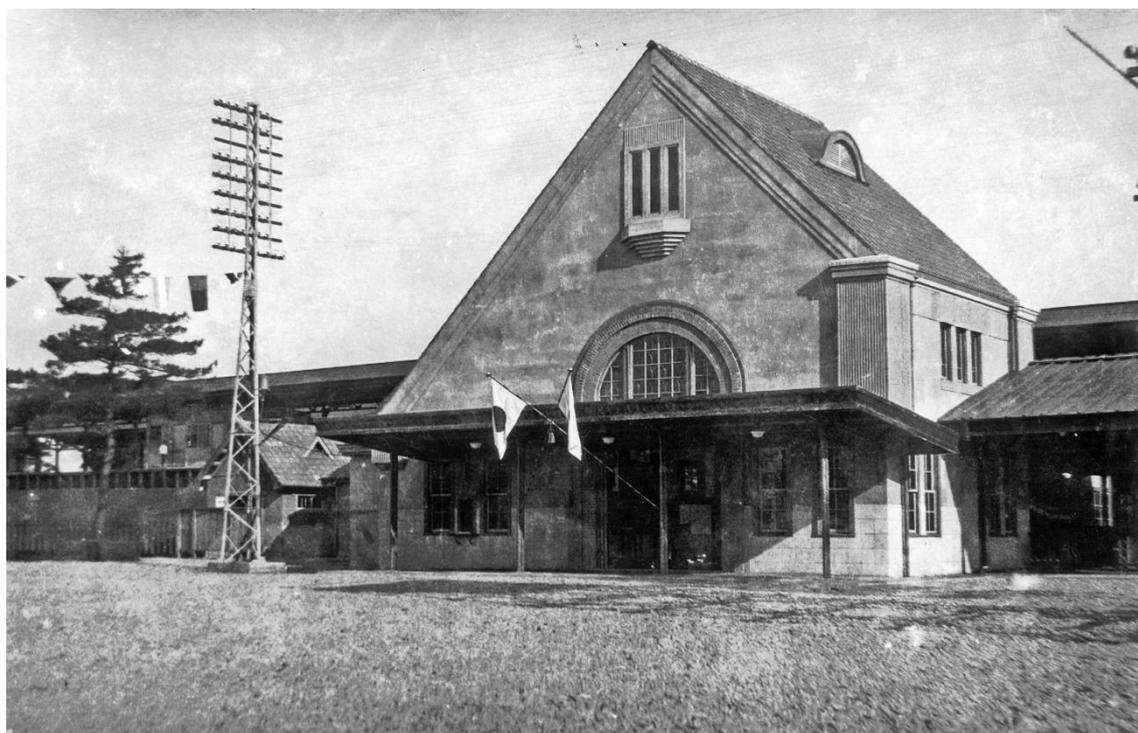
しお付き合いください。で、言いたいことはと申しますと、展示対象とした期間から時期の降るこの駅名表示。これに関してはまだ調査に手をつけていない、ということなのです。担当者の拙い能力では、展示準備期間中にそこまで手を広げて調査をすることができませんでした。「企画展の作業にケリがいたら、調査を進めてみよう」と考えていましたが、このコロナ禍で調査先も軒並みクローズ（当館もそのひとつですが）。緊急事態宣言中につきノコノコと調査へと出かけることも叶わず、結果として調査が進展していないのが現状です。

そのような状態で資料紹介に登場させたのは、この掲載によって市民の皆さんはじめ、ご存じの方から情報が提供されるのではないかと、という都合のいい期待からです。

創建から 80 年に亘って駅舎として利用されていた旧国立駅舎は、利用の便宜に沿うように手が加えられながら使い続けられていました。その変遷については、国立市による『国立駅周辺プラン報告書』（平成 12・2000 年 3 月）において報告されています¹。ただ、この報告書でも提示されていない部分があり、資料 1 の駅名表示もそのひとつなのです。

この 3 枚の看板による駅名の表示。これはいったいいつからなされたのでしょうか？

国立駅が創業を開始した当時、駅舎には駅名を示す看板はつけられていませんでした。



資料 2 完成した駅舎と附属屋 大正 15（1926）年 明窓浄机館所蔵（中島陟資料）

¹ 『国立駅周辺プラン報告書』（国立市、2000 年 3 月）「3.国立駅舎建物の特徴について」9～13 頁および「平面変遷図」（59 頁目）においてその変遷が示されています。なお、当報告書は国立市のホームページで公開されています。

報告書：http://www.city.kunitachi.tokyo.jp/ikkrwebBrowse/material/files/group/57/kunitachi_eki.pdf

その後、駅舎前面の庇の上に「国立駅」と表示された看板が設置されるようになります²。



参考資料-1

国立駅舎：館蔵『国立文化』創刊号（昭和24・1949年8月15日）3面「駅長さんの言葉」掲載写真を加工
駅舎前面の庇の上（赤丸の部分）に看板らしきものが写っています。管見の限り、庇の上に駅名表示がなされている写真の最初期にあたるものです。
戦前・戦中期の駅舎の写真が少ないことに加え、撮影時期が明確でない写真資料の特性もあって、この看板がいつから掲げられるようになったのか、現段階では把握できていません。



参考資料-2『市報くにたち』No.368（昭和55・1980年9月5日）7面掲載写真
くにたち郷土文化館所蔵：国立市広報移管写真

昭和55年8月1日～8日撮影のネガにある1枚。庇の上に「国立駅」の駅名表示があります。その下には、東京都立国立高等学校の甲子園出場を祝う看板も掲げられています。今年はインターハイの中止に続き、夏の甲子園も中止が決定となりました。学生時代運動部で過ごした者として、その心中を察すると掛けるべき言葉が見つかりません。1日も早いウイルスの収束を祈らずにいられません。

² 駅舎前面の庇の上に掲げられた駅名表示の看板は、時期によって取り替えられたようで、書体の変化などから何回か変更されたであろうことが分かっています。ただし、それが何回、いつ変更されたのかはよく分かりません。この点についても今後の調査課題です。

それが、いつのころからか資料 1 の 3 枚の看板が駅舎正面の壁面に取り付けられて駅名が表示されるようになり、平成 18 年に解体されるときまでこの駅名表示でした。



参考資料-3 解体前の国立駅舎（当館記録写真：平成 18・2006 年 10 月 11 日撮影）

繰り返しになりますが、この駅名表示、いつから 3 枚看板の体裁に変わったのでしょうか？ そんなに昔のことではないと思うのです。市民の皆さんや、解体前の国立駅をご利用されていた方などで、ご存じの方は多いのではないのでしょうか。何かしら情報がございましたら、当館宛までお知らせください。何卒よろしくお願いいたします。

と、こんなお願いで終わったら、「もうちょっと自分で調べろよ！」とお怒りを頂戴しそうですので、コロナ禍のもと館蔵資料等で何とかできないものかと少々もがいてみました。

まずは市報や当時の新聞記事などに掲載されている駅舎の写真からアタリをつけてみました。どうも平成の初めぐらいには 3 枚看板の表示になっていることが掴めました³。

そこで、国立市広報担当から当館へと移管されている写真資料を漁ってみることにしました。この広報移管写真は、当館において整理を進めている資料で、年代の古いところから適宜整理とデジタル化を行っています⁴。しかしながら、マンパワーの制約もあって、まだ

³ 『市報くにたち』第 499 号（平成 2・1990 年 3 月 5 日）1 面には「2 月 21 日撮影」と記された写真が掲載されており、そこに収められた駅舎には、資料 1 の 3 枚看板が駅舎正面に設置されています。なお、当時の市報は国立市ホームページの「くにたちデジタルライブラリー」でご覧になれます。
掲載アドレス：<https://city-kunitachi-tokyo.meclib.jp/library/public/book/list>

⁴ 2017 年に当館が刊行した写真集『くにたち あの日、あの頃 ―写真に見る少し昔のくにたち―』（155 頁、240 点以上の写真を掲載）は、広報移管写真資料の整理成果が結実したひとつです。

まだ「平成」までは整理の手が及んでいません。よって、収納している箱から移管当時のファイルを引き張り出しては、駅舎の写真を探して駅名表示を確認するといった作業を繰り返す、一面ホコリとの格闘でもありました。吸い込んだホコリの甲斐もあつてか見つかりました！この前後で駅名表示が変化したのだろうという写真が。次からの写真がそれです。



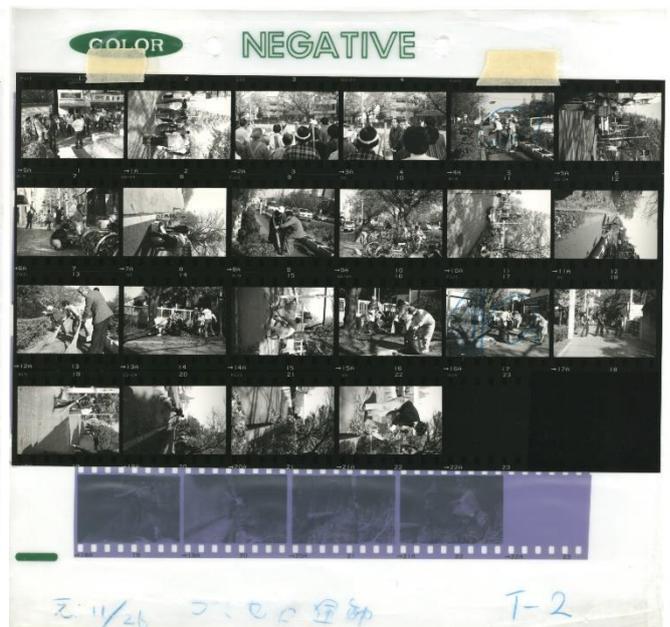
参考資料-4 平成元・1989年10月25日自転車クリーンキャンペーンの1枚
くにたち郷土文化館所蔵：国立市広報移管写真



参考資料-5 平成元・1989年11月26日ゴミゼロ運動の1枚
くにたち郷土文化館所蔵：国立市広報移管写真



参考資料-4 のネガシート

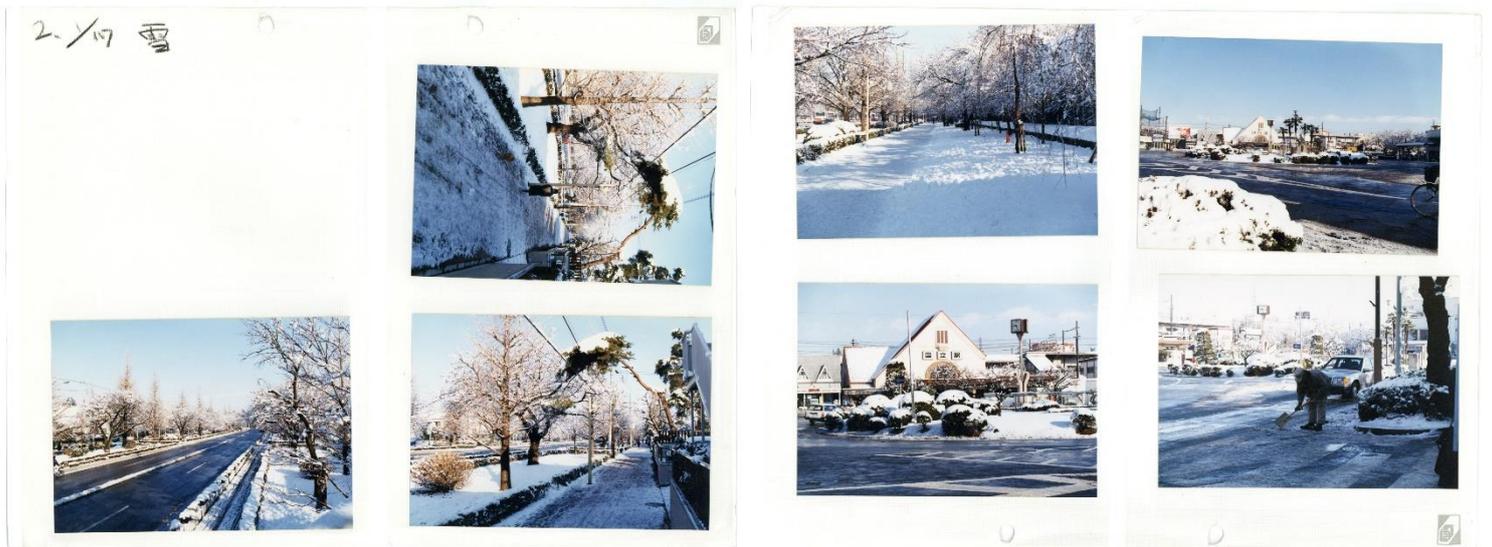


参考資料-5 のネガシート

参考資料の 4 と 5 の平成元（1989）年 10 月と 11 月の写真をみると、駅舎前面の底の上に四角い看板状のものが認められます。また駅舎正面の壁面には、3 枚看板の設置はまだなされていなかったようです。それが平成 2（1990）年になると変わります。



参考資料-6 平成 2・1990 年 1 月 17 日雪の 1 枚
くにたち郷土文化館所蔵：国立市広報移管写真



参考資料-6のプリントのスクラップ（表裏）

参考資料の6では、明らかに資料1の3枚看板が正面の壁面に設置されています。ということは、平成元年11月27日（参考資料5の翌日）から平成2年1月16日（参考資料6の前日）の間に3枚看板による駅名表示となったと考えられます。

平成元年12月辺りがクサイのですが、残念ながらその時期の駅舎を収めた写真がみつかりません。改めて当時の市報を確認しても、駅名表示の変更までは報じられていないようです。

今から約30年前。まだまだご記憶にある方や資料をお持ちであったり、ご存じである方も多いのではないのでしょうか。何かしらでも情報をお寄せいただくと助かります。何卒よろしく願いいたします。

この度紹介しました資料1の駅名表示板。春季企画展の一部として展示しておりました。春季企画展は終了しましたが、せっかく設置したものですし、融通の利く当館の資料でもありますから、しばらくこのまま展示しておこうということになっています（暑くなると資料に影響がでますから、そんなに長い期間ではありませんが）。

現在はまだ臨時休館中ですが、この休館措置が解けた際にはご観覧いただけましたら嬉しい限りです。3枚の看板達といっしょに写真を撮っていただけるよう、配置を計画したスタッフが意を注いでくれています。懐かしい方も、初めてご覧になる方も、駅名表示と共にパチリとやってみませんか。休館明けのご来館をお待ちしております。

【2020.05.23：中村記】